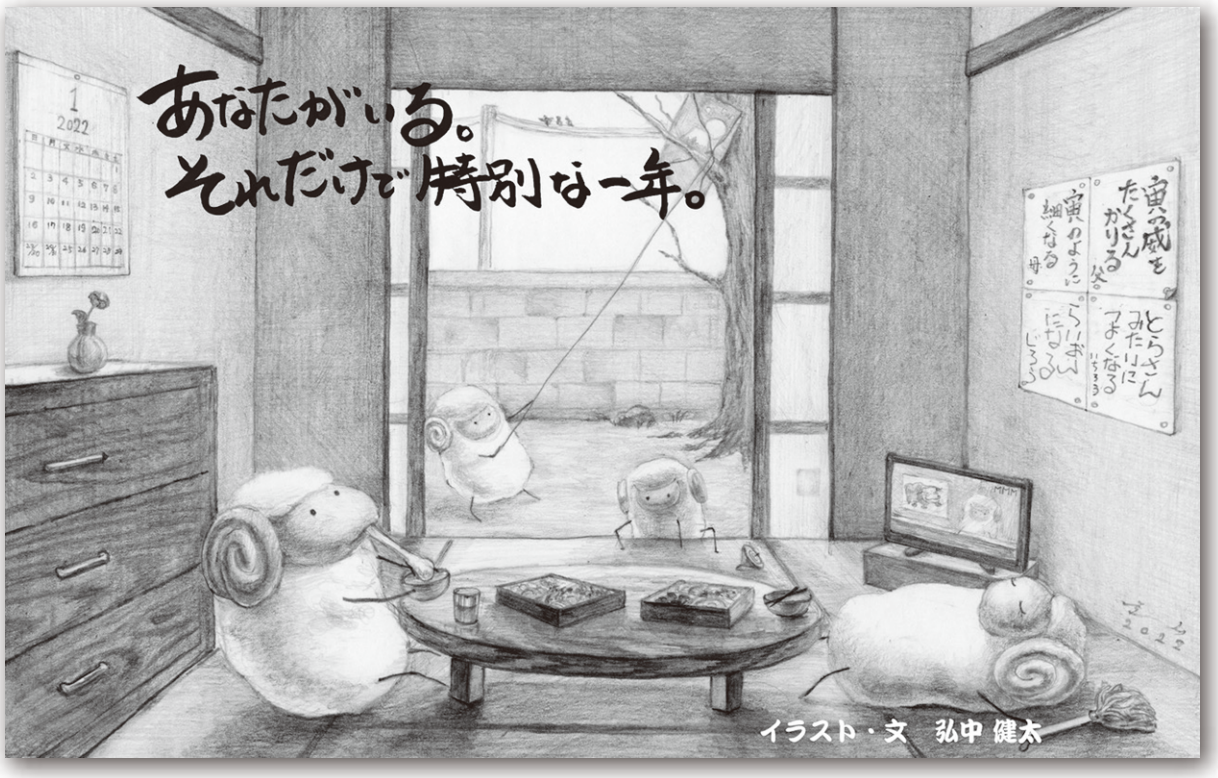

この度、イラストを担当させていただくことになりました。登場する羊さん（メリーさん）は、ある時探していたセーターが見つかったことから、ふと生まれたキャラクターです。これからご高覧いただき、可愛がっていただければ幸いです。
弘中　健太

“たましい”をゆさぶる子どもの本の世界 129

飫肥　糺（批評家・エッセイスト）

「猪突猛進」とはどんなこと。イノシシの語る「まっすぐ」とは…？

『ちょとつ』（絵本塾出版）

『ちょとつ』
（立川治樹／ぶん、くすはら順子／え、絵本塾出版）

去年が明けて新年が動きだす。二年来の新型感染症パンデミックは世界中をなお困る。お震撼させつづける。日本だけが第5波の荒波が去ったのち大波の再来がない。幸運があったか民族性が利したかと喧しいが不思議ではないか。しかし、第6波の襲来は必ず来るとも語られるのだから安心できない。用心に越したことはないのだ。

それにしても、わが国のコロナ対応は後手後手にまわり右往左往した。首相ふたりが退陣したいま、3人目の岸田内閣が指揮を執る。慣れない緊急事態であったことを差し引いても、科学者たちの知見のあつかいや施政の混乱など失態はひどかったと思う。それだけに動きはじめた新しい政府行政への期待は大きいはずだが果たしてどうか。隠蔽体質で突っ走る唯我独尊で猛進するリーダーも困るが、生半可の知見で回答ずらりの岸田内閣が指揮を執る。慣れない緊急事態であったことを差し引いても、科学者たちの知見のあつかいや施政の混乱など失態はひどかったと思う。それだけに動きはじめた新しい政府行政への期待は大きいはずだが果たしてどうか。隠蔽体質で突っ走る唯我独尊で猛進するリーダーも困るが、今回は猪突猛進イノシシの爽快なおはなし。

近年、ぼくの住む房総半島ではイノシシやキョン（外来種のシカ）が出没して田畑の農作物を食い荒らす被害が多発する。作物を食い荒らされる農家や危害を受けることもありの住民にとっては大問題。営林衰退で山林も荒れ獣たちの食材が細る。開発拡大で宅地は山地に接近する。無頓着に自然の原理に逆らってきたぼくら人間たちのふるまいが大きいのではないか。

イノシシは神経質で警戒心の強い動物である。だから、見慣れないものは避けようとし、人間と出くわしても余計なことをしなければ自分から離れていくという。もちろん、挑発すれば、強く反撃する。成人男子なみの体重で時速40～50キロで走るという突進力。視力は弱いがするどい嗅覚で突進するのだ。突撃を受けると大の大人でも突き飛ばされる。ただの傷ではおさまらないはずだ。かくして、「猪突猛進」なる四字熟語も生まれた。

一方に人気者のイノシシもいる。かつてバス旅行で訪れた天城峠の「いのしし村」にはゆかいで達者な舞台芸を見せるイノシシがいた。イノシシの知能は高く学習能力を持つ。いま、各地の動物園でサルなどを背に乗せて走り回るウリ坊を見た人も多いのではないか。（ウリ坊＝幼少期のイノシシ）

絵本『ちょとつ』に描かれるイノシシもなかなか愛嬌たっぷりの元気なイノシシだ。もちろん脇目もふらず猪突猛進する。走る。どんどん奔る。まっすぐ走る。

物語はすごく明快で爽快ストーリー。主人公イノシシが自分の一週間の行動を自画自賛して報告する。歯切れよい言葉がテンポよく弾み、まっすぐな主人公の動きを奔るスピードに乗せたイラストがぐいぐい展開する。痛快・爽快・愉快な気分のいいユーモア作品なのである。

月曜は大根畑をふんづけて走り、火曜は傷を負いながらも林の中に突進し、水曜は人家に突っ込み、おっちゃん、おばちゃんが食事中の卓袱台の上を走り抜ける。木曜には信号無視で交差点を通り抜けてしまう。

金曜の話。イノシシは川を前にしてまっすぐに飛び込み溺れてしまう。おはなしに「オチ」を配する巧みさで、土曜は大雨でひと休みでずっと寝るという幕間の味わいをみせる展開も面白い。

雨があがった日曜は最高の快晴びより。気分全快で突進するイノシシの前方に、ヒバリの子だろうか、鳴き声が聞こえる……、ここからフィナーレに連なる大胆な絵画展開が見ものだろう。あの、何があっても曲がることがだいきらいなイノシシが鳥の巣の直前で急に右旋回したのである。二言も発することなく猛スピードで走り去るイノシシの後ろ姿にあたたかい空気を感じとれると思う。

主人公イノシシの「猪突猛進」は配慮や反省なしに突き進むことではない力強さを意味していると思う。イノシシの語る「まっすぐ」とは、辞典のいう「正直で正しいさま」であったが、絵本から、ときに曲がることだってあることを知った。よどむ気分を一掃させるおはなしである。

（おび・ただす）

『ちょとつ』
立川治樹／ぶん
くすはら順子／え
絵本塾出版

絵本フォーラム

子育て支援ネットワーク

2022年1月10日　第140号

2003年4月25日登録商標第4665413号〔購読料〕1ヶ年2,070円（年6回奇数月10日発行・郵送料込み）

発行所　NPO法人「絵本で子育て」センター
芦屋 〒659-0067 芦屋市茶屋之町2-21-405
TEL 0797-38-7516 FAX 0797-38-7939
https://www.ehondekosodate.com/　E-mail info@ehondekosodate.com
郵便振替口座 00900-9-191667

©NPO法人「絵本で子育て」センター 2021

子ども歳時記

風の時代を生きる

北　素子

新しい年が始まりました。西洋占星術の世界では、20年末に約200年に一度の大転換期に突入したといわれています。金銭的な成功や所有、権威など、かたちあるものを重んじる物質主義の〝土の時代〟から、情報、知性、コミュニケーションといった目に見えないものを重視し、個人が自分なりの価値観で選択していく〝風の時代〟へ。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、このパラダイムシフトの前兆ともいわれています。多くの方が犠牲になり、世界構造そのものが変わりました。住まいや仕事、コミュニケーション手段など、コロナ前には想像もしなかったスタイルが定着しつつあります。

東京オリンピック2020では、「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、「そして、未来につなげよう（未来への継承）」という3つの基本コンセプトが掲げられていました。また、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すという国際目標のことを指す、〝SDGs〟も身近になりました。このように、自由で多様な価値観を認め合うことの大切さを、社会全体で強く意識していこうという流れになってきています。

わたしの職場である児童発達支援事業所には、療育の観点から支援が必要であると認められた未就学のお子さんが通っています。発達障害の子は、通常の発達の人と比べて発達が劣っているのではなく、発達の様子が異なっているという考えの下、治療や訓練によって修正するのではなく、子どもが本来持っている優れた部分に注目をして、その力が十分発揮できる環境を整え、彼らが社会と共生していくことを目指した支援を心掛けています。

輪ゴム、貝がら、どんぐりなど、それぞれ100ずつ集めて撮影された写真絵本、『100』（福音館書店）は、子どもたちに人気です。数字やマークが好きなA君は、金魚が100匹いるページがとくにお気に入り。手を叩いて喜んでいます。B君のお気に入りは、「きんたろうあめが1」のページをめくってからの「100」。ひとりで何度もページを繰って眺めています。C君は、各ページで自分の知っていることを話したくて先生と読みあうことを楽しみにしています。見開きいっぱいに散らばった100個ひとつひとつ異なったものが集い、調和する美しさ。表紙の100個のカラフルな風船に、〝風の時代〟を生きる自由と軽やかさを感じながら、誰もが唯一無二の大切な存在であり尊重される社会を願います。

（きた・もとこ）

『100』
（名久井直子／さく、井上佐由紀／しゃしん、福音館書店）

ジェリー・マーティン 英訳
えいごのじかん3 全6巻
分売可：各巻定価 1,980 円（税込）

英語の読み聞かせに最適なバイリンガル絵本！
ネイティブスピーカーによる英文朗読ダウンロードサービス付き！
Mr.Sheep's Bread　ひつじぱん
Dad Papa Pop　おとうさん・パパ・おとうちゃん
The Dentist　はいしゃさん
Kitty Cat Restaurant　ねこのレストラン
Doctor Orangutan　もりの ドクター ウータンせんせい
Shopping Parade　おかいものパレード
すずき出版　〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-3-1 岩波書店アネックスビル5F TEL：03-6272-8003 FAX：03-6272-8016

おじいちゃん
梅田俊作 梅田佳子 作・絵
定価 本体1300円（税別）

死ぬってどういうこと？
おじいちゃんが死んだ。家の中でも、家の外でも、おじいちゃんをこんなに近く強く感じるのに、もういないの？ 男の子が思い出の場所までたどりついた時、奇跡が……。大好きな人の死を男の子が受けとめ、前を向いて歩みだすまでを描いた絵本。
ポプラ社
〒102-8519 東京都千代田区麹町4-2-6
住友不動産麹町ファーストビル8・9階
TEL：03-5877-8101（代表）

子どもも大人も名作を読もう
きつねの窓
安房直子・作　いもとようこ・絵

定価1540円（税込）
真っ青な桔梗畑で子ギツネに会った僕は青く染めた指で作った窓を見せられる。そこには死んだ母ギツネの姿が……。不思議で切ないお話。
金の星社　〒111-0056 東京都台東区小島1-4-3 Tel.03-3861-1861 Fax.03-3861-1507

抱きしめてあげて
育てなおしの心育て

渡辺久子 著　いわさきちひろ 画
定価 本体1,400円＋税
幼児期から思春期にかけての育児の大切なことは「単に勉強のできる子」や「行儀のよい子をつくること」ではなく、次の社会で「仲間と仲良くやっていける社会人」や「温かい家庭を築き、よい子育てのできる親」を育てることという小児科医でもある著者がその方法などを26の症例を挙げて助言します！
太陽出版　〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-14 TEL.03-3814-0471 FAX.03-3814-2366

とよたかずひこ最新刊

ちゃわんちゃんです。
とよたかずひこ●さく・え
朝、おわんさんやコップさんに「おはよう」のあいさつ。ちゃわんちゃんには、なにが入っているのかな？ごはんの時間も楽しみになります。
定価 880 円（税込） 17.6×17.7cm／24ページ
童心社　〒112-0011 東京都文京区千石 4-6-6 TEL.03-5976-4181 FAX.03-5978-1078